

# らいてうの家

通信56号

・・・平和・協同・自然のひろば・・・

2020年10月1日

らいてうの家 〒386-2201 長野県上田市真田町長 1278-720

Tel・Fax : 0268-74-1385

NPO 平塚らいてうの会 〒112-0002 東京都文京区小石川 5-10-20 5F

Tel・Fax : 03-3818-8626

## らいてうの家は7月4日に開館



新型コロナウイルス感染防止のために延期していた開館がやっとできました。

入り口には木彫りのふくろうさん、熊さんがお出迎えをしています。

玄関ではハンドジェルで消毒しマスクを着用して入館してください。



台風などの暴風雨に備えての木の伐採が終わりらいてうの家の周りはずっきりしています。6月末には草刈りをして開館準備をしました。

庭には可愛い椅子ができました。ぜひ、座ってみてください。

家の北側も日当たりがよくなりこれから何が生えてくるのか楽しみです。伐採した赤松の年輪がよく分かり、数えることができます。



## 今年は4ヶ月間だけの開館

4月からのイベントもほぼすべて中止にしました。来てくださるお客さんには地元上田真田の会員がお出迎えをしております。お近くにおいでの際はぜひおいでください。

コロナウイルスの早い収束を願っております。

10月26日まで開館しております。

# 今年の企画展示は「らいてうの想いを現在(いま)に一

## 新婦人協会発会式100年です」



左の写真は6月30日東信ジャーナルの取材で今年の新しい資料「新婦人協会創立趣旨書」の説明をしています。昨年は本のコピーを展示していましたが、今年は実際に配布された趣旨書の実物コピーです。横52cmにも及ぶ物です。印刷所から刷り上がった物を市川房枝が東京駅の平塚らいてうに手渡しました。大阪朝日新聞社主催の第1回婦人会関西連合大会で配布し、新婦人協会創立を発表しました。

下記は趣旨書に添えた展示説明です。

### 新婦人協会創立趣旨書

1919年11月24日、大阪中之島公会堂で開催された第1回婦人会関西連合大会に出席した平塚らいてうは、新婦人協会の計画を発表しその趣旨書①を参会者全員に配り、運動への協力を求めた。この趣旨書は散逸し、会の趣旨書としては、翌20年3月28日に行われた発会式で配布された趣旨書②が知られていた。①と②の間に、1920年1月6日の協議会があり、その趣旨や目的に多少の違いがあり、①では「発起人 平塚明」であるが、②では「平塚明、市川房枝、奥むめお」となっている。

この「創立趣旨書①」は婦人会関西連合大会で中心的役割を果たした岸和田の山岡春が所蔵しており、後、大阪女性史研究会の人々が、「山岡家文書」を調査した際に発見した。2019年11月24日に開催された「新婦人協会発足100年記念の集い」に出席した大阪の山田裕美さんが実物のコピーを持参し、会場で披露したのち、らいてうの会に寄贈されたものである。

趣旨書全文は、平塚らいてうの会紀要第6号、13号に掲載しています。



左は今年、会事務所に届いた奥村博史製作の指輪です。

### 河村有紀子さん寄贈の指輪

この指輪は、祖母がらいてうのおば様から買った物です。時に仙川の家にいらして、祖母と居間で話されておりました。指輪をご持参なさる事もあり、その折には祖母が何点か買っていた記憶がございます。

河村有紀子さんは武者小路実篤の孫(三女辰子の娘)

展示に付けられた説明です。武者小路家とらいてうさんとの交流の様子がよく分かります。

**らいてうの家のお隣の「あずまや高原ホテル」が**6月いっぱい廃業しました。少しさみしくなりました。野生動物がよく出現するようになり、家の前の市道をカモシカの親子が歩いていたそうです。親子は大変珍しいそうです。